

話題の
ドキュメンタリー
まほろば**初**の
上映会！



ドキュメンタリー映画「かみさまとのやくそく」 ■製作 撮影 編集 監督： 荻久保則男 ■上映時間 114 分



事前取材無しの撮影と、音楽やナレーションを使わず、出演者たちの会話のやりとりとインタビューシーンのキーワードテロップのみで編集されたドキュメンタリー映画です。

まほろばで上映会が決まりました！（2回あります）

★場 所：まほろば本店2F

（札幌市西区西野5条3丁目）

★定 員：各回（2回上映）40名まで

★要予約：665-6624

（まほろば本店・担当：工藤）

※託児所の準備はございません。

※上映会は2回がありますので、希望の時間を指定ください。

①Pm 1:00～3:00
②Pm 5:00～7:00

Manday

the date

movie charge ¥1,000

526

主催 / ボディーセラピスト：柏崎 由紀子



【胎内記憶】

2～3歳の子どもに聞くと、胎内のことや出生時のことを語ることがあり、これを胎内記憶と呼ぶ。胎内記憶を研究している池川医師によると、精子だった記憶や、前世記憶、中間世記憶（受精する前の記憶）を語る場合もあるという。

～【現代用語の基礎知識 2013】より～

【体内記憶の第一任者、池川医師】

■池川明医師は神奈川県横浜市で産婦人科のクリニックを開業するかたわら、胎内記憶研究の第一人者として全国を講演して回っています。

胎内記憶を持つ子どもたちに、生まれてきた理由について訪ねると、「人の役に立つため」と全員が答えるといいます。「自分が生まれて、お母さんが幸せ、これが子どもたちにとっての幸せなんです」と、池川医師は語る。



●この映画は胎内記憶と子育ての実践、インナーチャイルドをテーマにしたドキュメンタリー映画です。

胎内記憶とはお母さんのお腹の中にいたときの記憶や、その前の記憶のこと。2～4才の子どもたちが話すとされています。



●インナーチャイルドとは、あなたの内なる子ども。心の深奥部に潜み、幼児期の体験によって傷つけられたり抑圧されたりしている、真の自己のことです。

●この映画には 音楽もナレーションもありません。

しかし、胎内記憶の聞き取り調査や子育ての実践、内なる子どもへの自己肯定ワークの過程を、カメラは丁寧に見つめます。



【監督のメッセージ】

この作品は、私が作った気がしないのです。なにか、大いなる力によって導かれ、完成させていただいたとしか思えないのです。

すべての人に思い出してほしいのです。あなたは皆に愛され、祝福されて生まれてきたのだということを。

そしてあなたは、あなたが選んだお母さんを助けるために、人の役に立つために生まれてきたのだということを。赤ちゃんたち、こどもたちの声に耳を傾けると、幸せへの近道が見えてきます。自分はひとりぼっちだと思っているあなたの中にも、実は純真な子どもが住んでいます。だからあなたにも心躍らせて映画の中の子どもたちと共鳴してほしいのです。そして、あなたの身近にいる子どもたちにも、あなたの中に住む子どもにも、優しい思いをシェアして、抱きしめてあげてほしいのです。

監督 荻久保 則男



【感想】

●「胎内記憶や、ましてお腹に入る前の記憶といったものは、不思議すぎて受け入れにくいように感じていましたが、子供の口から実際に語られているという事実をどう捉えるかによって、子供とより自然体な関係が築けたり、自分がより自然体になれたり、そういうものなのだと感じました。とてもいい映画でした。」(30代女性)

●「この映画を見ることができて幸せです。将来、子供ができたなら私を選んできてくれたことに感謝して笑顔いっぱいの母親に、なりたいと思います。」(30代女性)



●「とても素晴らしい映画でした。20年前に飯田史彦さんの「いきがいの創造」に出逢い生まれてくる子供さんらは親とお母さんを決めて生まれてくる。。とのこと…を知り事あることに知り合いのお母さんにその内容をお話して来ましたが、ほとんどのお母さんが首を傾げてることが多かったです。時代が追いついたのか、そうゆうことが受け入れられる時代になったのか、こんな映画が作られることに感謝します☆ 多くのお母さんや、これから結婚し子供を産む女性の方々に是非とも観てもらいたい映画です。」(60代男性)

●「子供達があんなにもハッキリと胎内や前世の記憶を話すことに驚きました。自分にもあの子達のように話すことがあったのか、家族に聞いてみたいと思います。お腹の中にいるときから話しかけることや、子供をありのまま受け入れることが大事なのですね。これから子を産み育てる世代として大変勉強になりました。」(30代女性)

●「昨夜上映された映画「かみさまとのやくそく」。観ないとあなたは損をします。二時間は瞬く間。直球ど真ん中勝負。小さな子供達に、人生を教わり、いのちを戴いた素晴らしい体験。池川医師の勇気と知恵は賞賛と感謝。上原ビジョンネット代表の、未来を見据えた適時打は、世界を動かす程の勇気と決意を感じます。」(40代男性)

●「この映画。僕の一生の宝物です。子ども達が、この世界の不思議を解き明かしてくれます。あなたの人生の問題を解決する糸口が見つかり、素晴らしい出会いとなりますように。」(40代男性)